

ふつさ 市議会だより

No.243 令和7年7月25日
発行／福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X(旧Twitter)



Facebook



総務文教委員会

幡垣正生 市川佳樹 清水義朋 市毛雅大
◎小林 貢 ○川崎善友



建設環境委員会

佐藤弘治 仲間正司 西尾壽々斗 三原智子
◎山崎貴裕 ○堀 雄一郎



市民厚生委員会

伊藤広美 小澤芳輝 武藤政義 原田 剛
◎青木 健 ○森田哲哉



議会運営委員会

森田哲哉 山崎貴裕 小林 貢 市毛雅大 清水義朋 青木 健 堀 雄一郎
◎原田 剛 ○小澤芳輝



横田基地対策特別委員会

森田哲哉 山崎貴裕 小林 貢 川崎善友 市毛雅大 堀 雄一郎 三原智子
◎清水義朋 ○仲間正司

▲各委員会の顔ぶれ(◎は委員長、○は副委員長)

令和7年第2回定例会
6月10日～6月27日

高齢者物価高騰対応生活支援事業を含む 令和7年度一般会計補正予算を可決

令和7年度一般会計補正予算の概要

各種事業等に係る補正予算について審議し、それぞれ全会一致で可決されました。

一般会計補正予算(第3号) 補正額 7,530万9千円

主な事業

- 賦課事務費(システム改良委託料) 62万7千円
- 保育事業費(保育所運営委託料、熊川保育園改良費補助金等) 4,737万1千円
- 幼稚園費(私立幼稚園児保護者負担軽減補助金等) 806万6千円
- 子育て支援費(システム改良委託料、医療費助成費等) 657万1千円
- 生活保護総務費(生活保護システム改良委託料等) 342万4千円
- 教育指導費(和太鼓体験・指導委託料) 39万6千円
- 予備費 885万4千円

一般会計補正予算(第4号) 補正額 4,747万1千円

主な事業

- 高齢者福祉事業費(商品券配布等業務委託料等) 4,481万2千円
- 予備費 265万9千円

令和7年第2回定例会は、6月10日から6月27日まで会期18日間で開催されました。条例の一部改正、補正予算など、市長提出議案9件が審議されました。また、15名の議員による一般質問が行われました。



15日	▼7月	27日	24日	20日	19日	18日	17日	12日	11日	10日	3日	▼6月
議会運営委員会		議会運営委員会 全員協議会	議会運営委員会 全会議4日目	横田基地対策特別委員会	総務文教委員会	市民厚生委員会	建設環境委員会	全員協議会 全会議3日目	議会運営委員会 全会議2日目	議会運営委員会 全会議1日目	議会運営委員会 全会議1日目	

◆会議の
開催状況と
審議日程◆

◆ 主な内容 ◆

- ◆ 一般質問(要旨) …… 2～5面
- ◆ 議案の審議結果 …… 5面
- ◆ 可決等された案件 …… 5～6面
- ◆ 委員会の審査 …… 6～7面
- ◆ 特別委員会活動 …… 7～8面

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は8月上旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



議員BOOK

福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



横田基地について

質問 昨年8月の横田飛行場におけるPFOS等を含む水の漏出事案での米側の説明内容を伺う。

市長 今年4月に北関東防衛局より、米側が貯水池の残水を粒状活性炭フィルターで浄化し雨水排水路へ放流する旨と、濃度が50ng/Lを下回れば当該放流は許容されると環境省に確認したとのことから、国へ放流の際のサンプル調査等を要請。立入

調査時の測定値が、50ng/Lを大幅に下回ったため、5月末より放流が開始された。防衛省は公共用水域でのサンプル調査を複数回行う。引き続き適切な情報発信に努めるとともに、都や周辺自治体と連携し対応する。

市の物価高騰対策について

質問 今般の物価高騰に対する市の認識と対応策等を伺う。

市長 本市では、国の交付金を活

用し、介護サービス事業所等への支援や住民税非課税世帯への給付事業を実施してきた。また、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施するとともに、定額減税不足額給付金給付事業を現在準備中。国の交付金増額を受け、高齢者にお米券を配布する事業の追加補正予算案を今定例会に提出予定。引き続き市民や事業者の生活を守る対策を講じていく。



正和会
小林 貢 議員



▲キャッシュレス決済ポイント還元事業のポスター

市が管理する道路及び公園等における樹木の管理について

質問 市が管理する道路や公園等における樹木の安全管理策を伺う。

市長 市では、これまで「福生市緑の基本計画」等に基づき緑の持続可能性を保つことを重点に置き緑化に取り組んできたが、長い年月により多くの樹木が大木化・老木化し、街路樹の通行や視認への障害、公園の樹木の民有地への越境、施設の損壊など、安全に支障を来すものが出

ている。市では、街路樹や公園の樹木の維持管理に係る指針等は作成していないが、各施設の所管課が随時日常点検を実施、必要に応じ樹木の剪定及び伐採を行い、倒木の危険のある樹木等は東京都の樹木診断マニュアルや樹木医など専門家の意見を伺うなど、適切な対応に努めている。

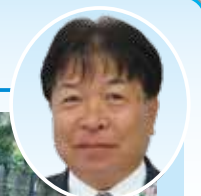
令和7年度の「平和のつどい」について

質問 戦後80年となる今年の「平和のつどい」の内容を伺う。

市長 当初、8月開催の「平和のつどい」で戦争に関連した劇場アニメーション映画の上映とトークイベントを予定していたが、映画のリバイバル上映の影響により10月へ延期。8月は、戦争経験者の講演会を開催し、2つの事業により終戦後80年の節目にふさわしいものにしたい。



正和会
森田 哲哉 議員



▲市で管理する道路の樹木管理の様子

民間企業との連携について

質問 本市の企業版ふるさと納税に関する取り組みについて伺う。

市長 令和7年3月の福生市人口ビジョン及び総合戦略策定に伴い、新たに制度を活用するため地域再生計画を作成し国の認定手続を進めている。企業版ふるさと納税をきっかけとした、新たな包括連携協定の締結や既に締結している企業からの寄附も期待できる。民間企業も社会貢

献の取り組みをPRする機会が増えるほか、寄附額の最大9割の税額控除など税制上の優遇措置を受けられる。本制度は地域の活性化につながる重要な取り組みであり同時に、民間企業との連携の機会を増やすものと認識しており導入に向け進めたい。

原ヶ谷戸地区周辺の道路整備について

質問 原ヶ谷戸第二交差点は交通

量が非常に多く渋滞が発生しやすい。本市の考えを伺う。

市長 多摩橋通りは、車の通過交通量が多く、同交差点やJR青梅線志茂踏切付近で朝夕を中心に渋滞が発生していることは認識している。解消には、志茂立体交差工事や産業道路延伸の早期完了が重要であり、早期完成を要望するとともに、引き続き都に全面的に協力していく。



正和会
山崎 貴裕 議員



▲原ヶ谷戸第二交差点

通学路及びスクールゾーンの標識・標示等について

質問 本市の通学路及びスクールゾーンの標識・標示等の維持管理や更新について所見を伺う。

市長 本市では、劣化や摩耗した道路標識、道路標示など道路施設の不具合は、市実施の道路パトロールや教育委員会が行う通学路点検のほか、市民からの情報提供等により把握し、不具合は可能な限り早期の更新等に努めている。対応結果は、学

校関係者へフィードバックし、必要に応じ対策内容の改善・充実を図るなど、通学路の安全確保に向けたPDCAサイクルを実践している。

持続可能な航空燃料（SAF）について

質問 今年9月に開催される東京2025世界陸上において、アスリートが移動する航空機の燃料にSAFを活用する取り組みが行われ、都が原

料の使用済み食用油を家庭等から回収するキャンペーンを開始したとのことだが、本市の対応を伺う。

市長 廃食用油の回収にオール東京で取り組み、SAFの製造につなげるもので、本市では6月16日から10月31日に市役所1階に回収ボックスや世界陸上ののぼり旗を設置する。市民へはホームページや6月15日号の市広報で周知する。



公明党
原田 剛 議員



▲通学路点検の様子

小・中学校の安全対策について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 本市の小・中学校において、不審者を校内に入れないための事前の対策及び、侵入してしまったときの対策を伺う。

教育長 市内の全小・中学校において正門等に電気錠を設置し、放課後まで校門を施錠。併せて校舎等に防犯カメラを設置し常時モニターで来校者を確認している。不審者侵入時の対策では、ボタンを押すだけで

警視庁の通信指令センターに接続し、即座に警察官が出動する仕組みである非常通報装置「学校110番」を導入、職員室等に設置している。また、教職員等の対応訓練や児童・生徒の避難訓練を随時実施している。

児童・生徒同士のトラブルの保護者対応について

質問 児童・生徒のトラブルが生じた際の学校の対応について伺う。

教育長 トラブル発生時は、教育的視点に基づき丁寧かつ迅速に対応するよう「初期対応を適切に行う」「組織的に対応する」の2点を指導している。また、教育委員会では、各校と児童・生徒に関わる情報を日頃から共有し、大きなトラブルに発展しそうな事案は助言を行うだけでなく、指導主事等が直接保護者へ説明するなど学校を支援している。

福生市の契約制度における少額随意契約について



正和会
仲間 正司 議員



質問 地方自治法施行令の少額随意契約の基準額がこのたび数十年ぶりに改正されたが、その理由と効果、また、市としての対応を伺う。

市長 少額随意契約は、能率的な行政運営が阻害される恐れがあるため、規則で定める額までにおいて随意契約を可能とする制度。国は、近年の急激な物価高騰と自治体の事務負担増を受け、市町村の工事の基準

額では130万円から200万円に、消耗品等財産の買入れは80万円から150万円に引き上げた。これにより、地方自治体は迅速に事業を執行でき、地元中小企業側の事務負担軽減、公共工事の速やかな実施による事業環境の改善、地域経済活性化などが期待される。国の改正に合わせ4月1日から福生市契約事務規則を改正しており、より迅速で効率的な事務遂

行を目指す。

質問 少額随意契約以外にも見直しを検討しているか伺う。

総務部長 現在の物価は上昇傾向にあるため、担当課や契約係契約の基準額、前払金の限度額、見積徴収の省略に係る基準額等についても適正化を図りたいと考えている。時期については、国や他の自治体の動向を注視しつつ判断していきたい。

市のイベント運営について



正和会
武藤 政義 議員



▲水泳指導外部委託化モデル事業の様子

質問 市が中心となってイベント運営を行うのはかなり負担が大きいと感じるが、市が担うことになった背景や今後の方向性について伺う。

市長 福生の三大祭りの運営ではイベントの歴史や地域の祭りならではの魅力を失わないよう事務局を担ってきた。しかし、担い手不足、会場周辺の住民への配慮などにより、市の負担は増加している。祭りの歴

史や魅力を大切にしつつ、一部をアウトソーシングする取り組みが重要。また、観光協会や企業等とのパートナーシップの展開など、担い手のすそ野を広げていく時期が来ている。

水泳指導について

質問 令和6年度の水泳指導の外部委託化モデル事業の成果、課題を踏まえた今後の展望を伺う。

教育長 令和6年度に実施した福

生第六小学校及び福生第三中学校の2校の成果は、水泳指導の質的向上と年間指導計画で想定した日程・回数どおりに水泳指導が実施できたことの2点である。令和7年度は福生第四小学校、福生第五小学校、福生第七小学校を追加した5校で実施する。今年度さらに検証を重ね、令和8年度からの全校実施が円滑に行えるよう取り組んでいく。

社会教育における子どもを中心とした取組について



公明党
青木 健 議員



▲「福生市教育ビジョン2025-2029」

質問 10年後、20年後に社会の中心となる子どもたちをターゲットとした取り組みに注力すべきと考えるが、社会教育や生涯学習分野における本市の取り組みについて伺う。

教育長 社会教育における子どもを中心とした取り組みについて、令和7年3月に策定した「福生市教育ビジョン2025-2029」では、生涯を通じた学びによる豊かな地域づく

り・人づくりを基本方針の一つに掲げ、「こどもまんなかふっさ」の具現化を目指した取り組みを進めている。生涯学習推進課では、「令和の記憶・記録プロジェクト未来に残したい福生の風景写真コンテスト」で小・中学校の全児童・生徒に審査を依頼し、子どもたちの郷土愛の醸成に努める。スポーツ推進課では、令和7年度からパラスポーツ体験教室

の会場に小学校を加える。公民館では、小学5年生から中学3年生を対象にジュニア社会教育士養成講座を実施し、学校・学年を超えた仲間と交流し地域の一員としての自覚を育む。図書館では、小学5年生から中学3年生を対象にジュニア司書養成講座を実施し、より豊かな読書啓発を図る。このように、子どもたちを中心とした取り組みを推進していく。

スタートアップ企業支援について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



▲市で発行している創業支援パンフレットの表紙

質問 福生市としてスタートアップ企業の支援に関する具体的な制度や事業はあるか。現状や実績についても伺う。

市長 令和6年度は、「中小企業振興資金融資制度」が20件のスタートアップ企業に活用され、「空き店舗活用補助金」は比較的可利な条件であることから市外から利用されるケースが増えている。福生市商工会が実施する

「福生市よろず相談支援事業」は相談事業のほか、事業計画策定支援も行っておりスタートアップ企業に対する重要な支援となっている。

若者によるまちづくり参画の推進について

質問 高校生や大学生などの若者が市政や地域活動に関わる機会に関する現状と、若者のまちづくり参画を促進する制度を新たに創設する考

えはあるかを伺う。

市長 「総合計画（第5期）後期基本計画」策定時に高校生に意見聴取するなど様々な取り組みを実施。一方で、高校生・大学生は部活動や進学、就職に向けた準備等時間的制約が大きいため、これまでの取り組みを継続する中で若者が参加しやすい柔軟な参画の機会を確保し若者の声をまちづくりに生かしていきたい。

DX推進について

質問 高齢者のデジタルデバイド対策についての所見を伺う。

市長 スマートフォンを所有していない65歳以上の高齢者を対象に無料で機器を貸し出し、操作を体験する講習会を実施。令和7年2月までに延べ393人が参加した。事業実施後のスマートフォンの平均購入率は64.3%だった。また、東京都の事業も積極的に活用し、スマートフォン

教室や専門アドバイザーによる相談会を市役所や福祉センターで開催。令和6年度は両事業合計で延べ251名の参加があった。現在老人クラブを対象にアンケート調査を実施しており、今後の施策への参考としたい。

搾乳マークについて

質問 授乳室を搾乳でも利用できることを示すシンボルマーク「搾乳マーク」について、市の所見を伺う。

市長 搾乳マークは、一部の自治体等が、独自に作成し普及を図っている。現時点では、国及び都の各種ガイドラインに定めはなく、施設管理者が任意で掲示している。本市では、授乳とともに搾乳も可能なスペースとして「赤ちゃん・ふらっと」を利用することができる。今後、国及び都から新たな指針等が示される可能性もあり、動向を注視していく。



公明党
堀 雄一郎 議員



▲高齢者スマートフォン体験事業の様子

公共施設におけるバリアフリー化の進捗状況について

質問 本市の公共施設におけるバリアフリー化は計画どおり進んでいるか伺う。

市長 第4期福生市バリアフリー推進計画及び福生市公共施設等総合管理計画等により順次バリアフリー化を進めている。最近では、S&Dたまぐー福生中央図書館のエレベーターやバリアフリースイレの設置、石畳の段差解消等を行った。現在、

熊川駅のエレベーター設置工事などバリアフリー化に積極的に取り組んでいる。未実施の施設については、財源を確保しつつ改修工事を実施し、利用時の負担を軽減し、気軽に利用できる公共施設整備を推進していく。

障がい者の外出支援等について

質問 移動支援等の支給時間やタクシー費用助成、ガソリン費用助成の拡充について、市の所見を伺う。

市長 本市では3年に一度、各区分の支給決定基準を設定し、個々の障害の状況、本人の意向等を伺い公平なサービスが提供されるよう努めている。現在拡充は予定していないが、令和7年度に実施する障害者生活実態調査結果の分析や、近年の物価高騰及び円安の継続性などの社会情勢や、他市の動向などの情報収集をしていく。



公明党
川崎 善友 議員



▲石段の段差解消を行ったS&Dたまぐー福生中央図書館

米軍横田基地について

質問 米国国防総省の日本における有害廃棄物処理に関する監査報告書について、内容と市の対応を伺う。

市長 4月30日付で公表された監査報告書によると、PCB(ポリ塩化ビフェニル)が、定められた手続によらず処分され、PFOS等を含む水は、不適切に保管された、とのことだった。これを受け、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議

会は、米軍に対し詳細情報の速やかな提供を要請するとともに、国に対しても、同様の内容を米軍に要請するよう要請した。

米軍関係者の刑法犯事件に関する報道について

質問 2013年から24年までに東京都内における米軍関係者による刑法犯事件が計160件あったことが報じられたが、本市の受け止めを伺う。

市長 北関東防衛局に検挙数を把握していたか確認したところ、統計的に把握はしていないが、日本側捜査当局から公表がなされ、関係省庁より情報提供があった場合は、北関東防衛局から地元自治体に全て伝達し、適切に対応していくとのことだった。今後も東京都や基地周辺自治体と連携しながら、国に対し、適時適切な情報提供を求めている。



日本共産党
市毛 雅大 議員



▲北関東防衛局からの情報提供内容(市HPより)

高齢者の住まいについて

質問 高齢者に住宅を貸しながらない大家もあり、住宅が見つからないという高齢者からの相談があった。大家側は、介護や認知症問題、身寄りや保証人がおらず、死亡時の対応などが懸念される。借地借家法では、所有者が借家人を保護する義務を負うため、高齢者との契約を渋る大家が増えると考えるが、高齢者の住まいに対する市の施策を伺う。

市長 我が国の住宅供給事情を見ると、今後、高齢者などの住宅確保要配慮者の住まいを確保するニーズが高まるが見込まれる。一方、賃貸住宅の所有者が孤独死や死亡時の残置物処理、家賃滞納等の懸念を持つ現状もある。そうした状況を踏まえ、国では、「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット

法)」を改正し、支援の強化を掲げている。本市においても、適切な住宅を確保することが困難な高齢者世帯に対し公営住宅の一部を高齢者世帯専用としているほか、民間の集合住宅を借り上げて提供するシルバーピア事業を実施している。また、高齢者に限らず、相談を受けた際は、公的賃貸住宅やセーフティネット住宅等の情報提供も行っている。



日本共産党
伊藤 広美 議員



子宮頸がんワクチンについて

質問 子宮頸がんワクチンの現状と市の取り組みについて伺う。

市長 子宮頸がんは、国立がん研究センターがん情報サービスによると、国内では年間で約1万人以上の女性が発症し、年間約3千人の女性が死亡すると推測されている。また、性交渉によるHPV(ヒトパピローマウイルス)感染が主な原因とされており、ワクチン接種により感染リ

スクを減らすことができる。本市では、令和7年度は小学校6年生から高校1年生の年齢に相当する女子を対象とした定期接種に加え、令和4年4月1日から令和7年3月31日までのキャッチアップ接種期間に1回以上接種した方に対し、令和8年3月31日まで接種期間を延長してワクチン接種を実施。定期接種状況は令和5年度が延べ141人、6年度が延

べ215人であった。また、キャッチアップ接種も全対象者に個別の勧奨を行っており、接種状況は、令和5年度が延べ518人、6年度が延べ1160人となっている。なお、今後の取り組みとして、ワクチン接種に関する情報の周知を市ホームページで行うとともに、接種推奨年齢にあたる方や、ワクチン未接種の方に対し引き続き個別勧奨通知を行う。



スポーツ文化を通じて人づくりと街づくりの会
幡垣 正生 議員



災害に備えた市の職員等の取組について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲災害時医療救護所開設訓練の様子

質問 令和8年度の防災庁の設置に向けた国の動きなども踏まえ、本市でも、様々な備えをしていると認識している。災害時は、職員が日常の職務とは異なる対応を求められ、平時からその認識の下、備えを万全にしていけることが重要と考える。福生市地域防災計画では防災活動の組織整備等について示されているが、本市の防災担当以外の職員も含めた

災害に備えた取り組み及び関係機関等との取り組みについて伺う。

市長 災害対応について、東京都や様々な機関において研修、訓練等が設けられ、各担当の職員が積極的に参加し、予期せぬ災害に備えている。例えば、り災証明書の交付は課税課と収納課の職員が、建築物の倒壊等の危険性を判定する応急危険度判定は、公共施設マネジメント課と

まちづくり計画課の職員が講習会等に参加し、専門的知識を習得している。令和6年度には、新たに福生消防署と迅速なり災証明書発行に向けた災害協定を締結した。健康課と子ども家庭センター課では、毎年福生市医師会等と連携して災害時医療救護所開設訓練を実施、また公立福生病院や近隣市町と連携し緊急医療救護所訓練も実施予定。

議案の審議結果（○賛成 ×反対）

録画映像をご覧くださいませ

※スポーツ・文化を通じて人づくりと街づくりの会



令和7年第2回定例会	議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	スポーツ・文化の会	議決結果
	市長提出議案									
	議案第24号	福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第25号	福生市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第26号	福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第27号	福生市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例及び福生市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第28号	福生市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第29号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第30号	福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第31号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第32号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	可決

可決等された案件(要旨)

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

本条例第1条では、生活に困窮する外国人に関する事務を個人番号利用事務から削除するほか、標準準拠システムへの移行に伴い、市の住民基本台帳に記録されていない者の情報の管理に関する事務を個人番号利用事務に加えるとともに、規定を整備するため、条例を改正するもの。第2条では、子どもの医療費助成事業において所得制限が撤廃されることに伴い、すでに条例で個人番号利用事務として定めている関係各事務において規定を整備するため条例を改正するもの。

第1条の規定は公布の日から、第2条の規定は令和7年10月1日から施行しようとするもので、経過措置として本条例の規定は有効期限の始期が施行日以後の日である医療証に係る特定個人情報の利用について適用し、有効期限の始期が施行日前の日である医療証に係る特定個人情報の利用に

については従前の例による。

●福生市手数料条例の一部を改正する条例

標準準拠システムへの移行に伴い、土地又は建物に関する証明に係る規定を改めるため、条例を改正するもの。

土地又は建物に関する証明を交付する際の手数料について定めているが、標準準拠システムへの移行に伴い、証明の様式が土地と家屋を合わせて1枚に5件まで表記できるようになる。

●福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

東京都が令和7年10月から実施する乳幼児、義務教育就学児及び高校生等の医療費助成制度における所得制限の撤廃に伴い、養育者の所得要件に関する規定を削除するため、条例を改正するもの。

令和7年10月1日から施行しようとするもので、経過措置として本条例の規定は施行日以後に行われる療養に係る医療費の助成について適用し、施行日前に行われた療養に係る医療費の助成については従前の例による。

●福生市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例及び福生市高校生等の医療費の助成に

関する条例の一部を改正する条例

現行の義務教育就学児及び高校生等の医療費については、通院1回につき上限200円の一部負担金を設けているが、養育者の負担軽減を図るため、この医療費の一部負担金に係る規定を削除するとともに、規定を整理するため、関係する条例を改正するもの。

令和7年10月1日から施行しようとするもので、経過措置として本条例の規定は施行日以後に行われる療養に係る医療費の助成について適用し、施行日前に行われた療養に係る医療費の助成については従前の例による。

●福生市下水道条例の一部を改正する条例

災害時における排水設備の工事の迅速かつ円滑な実施を図るため、工事を施行できる者の特例に関する規定を整備するため、条例を改正するもの。

排水設備の新設等の工事は福生市の指定下水道工事店で行われなければならないと定めているが、災害時に他の自治体で指定下水道工事店の不足により排水設備等の復旧が遅れが発生している状況等を踏まえ、特例として災害その他非常の場合においては、福生市の指定下水道工事店で行っても排水設備の新設等の工事を施行できるよう規

定するもの。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第3号)

第1子保育料無償化や保育所等の副食費の全額公費負担に加え、保育所等に対し、物価高騰の影響を軽減するための補助金の交付などを実施するに当たり、歳入歳出それぞれ7530万9千円を追加し、予算総額を296億8442万5千円とするもの。

歳入では、負担金が保育所入所児童利用者負担金で3569万1千円の減額。国庫補助金が生活扶助基準見直し等のシステム改良委託料や熊川保育園改良費補助金で862万7千円。都補助金が第1子保育料無償化に伴う保育所等利用世帯負担軽減事業費補助金や、保育所等物価高騰緊急対策事業補助金、笑顔と学びの体験活動プロジェクト子供企画型補助金などで1億237万3千円。

歳出では、徴税費が税制改正に伴うシステム改良委託料で62万7千円。児童福祉費は副食費公費負担による保育所運営委託料や、認定こども園施設型給付費の増、保育所・幼稚園等物価高騰対策補助金、義務教育就学児医療費助成事業等の所得制限撤廃などに伴うシステム改良委託料及び通院1回当たり200円の一部負担の廃止に伴う医

療費助成費の増などで、6200万8千円。生活保護費は生活扶助基準の見直し等に伴うシステム改良委託料で342万4千円。教育総務費は笑顔と学びの体験活動プロジェクト事業で、児童が地域の芸術文化団体から和太鼓に関する専門的な指導を受ける和太鼓体験・指導委託料に39万6千円。



▲令和7年度福生市表彰式

●福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について

固定資産評価審査委員会委員として、15年の長きにわたり市の発展に貢献された佐藤正明氏を自治功労表彰するもの。

●福生市表彰条例に基づく一般表彰について

個人では、市議会議員として貢献をされた石川義郎氏、教育委員会委員として貢献をされた新藤美知子氏、選挙管理委員会委員として貢献された佐藤和男氏、町会長・自治会長として貢献された志茂信吾氏、清水喜久雄氏、小林陽一氏、仲間正司氏、島崎泰二氏、飯島

尊士氏、古海裕一氏、田村光男氏、細谷満広氏、都市計画審議会委員として貢献された田村半十郎氏、地域福祉推進委員会委員及び地域包括支援センター運営協議会委員として貢献された佐々木和仁氏、地域包括支援センター運営協議会委員として貢献された萬沢明氏、防災会議委員及び国民保護協議会委員として貢献された町田朝夫氏、交通安全推進委員会委員として貢献された小山武氏、溝呂木勲氏、菅原榮子氏、消防団員として貢献され、現在もなお活躍されている田辺浩祐氏。団体では、軽自動車及び電動自転車を寄附された東京福生ライオンズクラブを一般表彰するもの。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第4号)

国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が追加交付されることとなり、市の物価高騰対策としてお米券を配布する高齢者物価高騰対応生活支援事業を実施するに当たり、歳入歳出それぞれ4747万1千円を追加し、予算総額を297億3189万6千円とするもの。

歳入では、国庫補助金物が物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金で、5月27日に国が令和7年度一般会計予備費を使用し、同交付金の推奨事業

メニュー分として1千億円の増額を決定したことを受けたもの。本市における交付限度額は1747万1千円と提示されており、高齢者物価高騰対応生活支援事業に係るものとする。基金繰入金は財政調整基金繰入金で一般財源の不足を補うため、3千万円を繰り入れる。

歳出では、社会福祉費が高齢者物価高騰対応生活支援事業で、物価高騰の影響を緩和し生活支援を図るため、65歳以上の高齢者に対してお米券を配布しようとするもので、4481万2千円。

高齢者物価高騰対応生活支援事業は、依然として物価の高騰が続いている状況において、交付金を活用し、更なる物価高騰対策に資する事業の実施が急務であると考え、米価格が高騰している状況を鑑み、主な収入が年金である高齢者の経済的支援と健康的な食生活を支援するため、お米券を配布するもの。対象者は令和7年7月1日時点で福生市に住民登録があり、令和8年3月31日までに65歳以上となる高齢者約1万6500人で、1人当たりお米券4枚、1760円相当を配布する。

今議会にて議決後に速やかに契約手続等を開始し、8月下旬には簡易書留により自宅に郵送する予定。業務委託の内容は、①

1人当たり4枚のお米券の調達及び管理、②対象となる65歳以上の高齢者約1万6500人に配布するためのお米券及び案内文の封入・封かん作業、③不在等により郵送したお米券を受け取ることができなかった方への受け取りの勧奨と、受け取った方に対し受託者が有する市内の店舗等において実施するお米券の受渡し業務。業者は今議会にて議決後に決定するが、6万6千枚のお米券を早急に確保でき、高齢者が実際に受領したお米券の枚数に合った精算払いと、郵送で受領できなかった方に対するお米券の受渡し事務ができる店舗等の拠点を市内に有することなどの仕様を満たせる事業者に委託したいと考える。

お米券は1枚当たりの販売価格は500円だが、引換え価格は440円でお釣りが出ない金券である。米5キログラムの平均価格が4千円前後となっている現状を考慮し、高齢者の米の購入の負担が軽減されるよう、1人当たり4枚、引換え価格にして1760円とした。使用対象店舗は市域が限定されるものではなく、全国の米穀店、スーパーマーケット、デパート、コンビニエンスストア等お米券取扱店で利用でき。また、使用期限は設定されていない。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月17日に委員会が開かれ、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。



▲委員会の様子

●福生市下水道条例の一部を改正する条例

問 この条例改正の背景について伺う。

答 令和6年1月に発生した能登半島地震では、多くの家で排水設備等が破損した。指定工事店自身も被災したことで、工事を行うことができない指定工事店が不足し、排水設備等の復旧が遅れる要因となった。これを踏まえて、被災時に排水設備等の工事が円滑に実施されるよう、災害その他の非常の場合においては、福生市の指定を受けていない下水道工事店であっても指定下水道工事店と同様の取扱いができるよう規定の整備をする。

問 適用した際の運用上

の具体的な想定の対象について伺う。

答 条例上、福生市の指定を受けることはできない、東京都以外の自治体で指定を受けている指定下水道工事店を想定している。



▲「にっぽーくふっさ」を現地視察

市民厚生委員会

6月18日に委員会が開かれ、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。



▲委員会の様子

●福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

問 子どもの医療費助成事業に係る所得制限撤廃

により市が受ける補助金の影響額について伺う。

答 マル乳が71万円、マル子は211万円、マル青は245万円の増額を見込んでいる。

●福生市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例及び福生市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

問 200円の一部負担金の廃止について、26市中における実施順位と対象者数を伺う。

答 マル子については26市中12市目、マル青については26市中11市目の実施となる。対象人数は、令和7年4月末現在でマル子は3140人、マル青は1170人となっている。



▲多文化キッズサロン「うえるかむ」を現地視察

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第3号)

問 熊川保育園改良費補助金について詳細を伺う。

答 主なものとして万年堀の改修補強と防犯ネットフェンスの付け替え、扉の電気錠化やカメラつきインターホンへの改良

等、防犯安全対策のための工事、日常の保育活動に影響が出ないよう日程を組み、12月までに完了する予定である。

問 保育所・幼稚園等物価高騰対策補助金について、1園当たりの補助額と充当できるメニューについて伺う。

答 対象施設は認可保育所、認定こども園、小規模保育園、病児保育室、幼稚園、認可外保育施設の計20施設で、補助基準額は施設類型と規模にもよるが、児童数100名程度の認可保育所の場合、約52万円となる。補助対象の経費としては、期間中における食材料費及び光熱費の物価高騰への対策として支出した経費が対象となる。

問 保育所等における給食費補助事業について詳細を伺う。

答 対象児童数は合計755人で、園児1人当たりの補助単価は公定価格相当額の月額4900円とするが、市内の認可保育所及び認定こども園においては、現在実施している1人当たり月額400円を補助する副食費軽減事業分を除いた月額4500円となる。また、幼稚園は給食費を月額による徴収としていない園もあるため、1食当たりの補助額は350円となるが、上限を超えた部分については、引き続き園へ

の支払いが必要となる。

問 生活扶助基準の見直しの内容について伺う。

答 物価高への対応など社会経済情勢を踏まえ、令和7年10月からの2年間、臨時的・特例的な措置として、これまでの加算額1000円に500円を上乗せして生活保護受給者1人当たり月額1500円を加算支給する。入院患者や介護施設入所者については、食費や光熱費等が現物給付されている状況等を踏まえ、現行の加算の額である1人当たり月額1000円を維持する。

総務文教委員会

6月19日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。



▲委員会の様子

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

問 住登外者と言われる方の情報の管理に関する

事務を、個人番号利用事務に追加することだが、システム上で何か影響等があるのか伺う。

答 住民情報システムにおいては、標準仕様書へ準拠する際、この宛名管理システム内に住登外者宛番号管理機能を実装する。実装後も管理方法等に大きな変更がないことから、影響はないと考えている。

●福生市手数料条例の一部を改正する条例

問 この条例改正に至った背景及び土地と建物の数え方が整理されるというところであるが、市民などへの影響について伺う。

答 住民の利便性の向上及び地方公共団体の行政運営の効率化に寄与することを目的に、令和3年9月に地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が施行された。

その後、政令により、標準化の対象となる20業務について標準仕様書に沿った標準準拠システムへの移行が必要となることに伴い、税務システム標準仕様書による様式へ変更するため、条例改正が必要になったものである。

また、標準様式により、土地と家屋を合わせて5件までの表示が可能となるため、例えば土地が2件、建物が1件の場合、現行システムでは2枚で600円の手数料である

が、移行後は1枚で300円となり、手数料の負担軽減につながるものである。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第3号)

問 軽自動車税等事務について、税制改正に伴い基幹系システムを改良するというところであるが、その詳細について伺う。

答 原動機付自転車のうち、総排気量が125cc以下で、最高出力を50ccの原動機付自転車と同等の4・0キロワット以下に制御された、新基準バイクという区分が新設され、税率を50ccの原動機付自転車と同額の年額2000円とされたものである。新しい車両区分が新設されたことに伴い、標識交付証明書等の各種帳票や照会画面、集計表等の修正が必要となり、システム改良を実施するものである。

問 笑顔と学びの体験活動プロジェクト事業について、福生第三小学校が対象校となった、選定経緯及び対象学年、指導を受ける回数や人数、指導及び発表日程について伺う。

答 福生第三小学校は、20年以上にわたって和太鼓演奏を総合的な学習の時間で取り上げ、運動会でその成果を発表してきた実績がある。それを踏まえて、このたび和太鼓体験を子供企画型として

申請したところ、東京都教育委員会から実施校として決定されたものである。対象学年は、第6学年全児童になる。指導回数は3回を予定、人数は一回、3人程度。指導については7月から始まり、発表は10月25日の運動会を予定している。



▲福生第三小学校での和太鼓演奏指導の様子

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め7回開催されました。

5月15日の臨時会において新しいメンバー構成となった本委員会では、



▲委員会の様子

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

議会改革の取り組みとして、今まで議論を行ってきた議会基本条例の制定について引き続き協議を行うこととした。また、本会議及び委員会における呼称について、政務活動費についても協議を行った。

6月20日に委員会が開催され、6件の議題について審査しました。



▲委員会の様子

1 令和6年度防衛補助事業等実施状況について

防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律（環境整備法）に基づき、対象となる18事業について説明があった。

環境整備法の第3条による事業については、小中学校の防音機能復旧（復機）事業や雨水管渠更生事業に充てられ、補助金の総額は6億4726万6千円。

第8条による事業については、福生第四小学校

空調設備等改良事業に充てられ、補助額は1千577万1千円。

第9条の「特定防衛施設周辺整備調整交付金」を活用した事業は、熊川駅等バリアフリー整備事業、自転車駐車場施設改良工事、小中学校校庭照明改良事業他、全5事業について交付され、総額は7億1369万5千円。

2 令和8年度防衛補助事業概要要望について

国の補助金申請の事務手続き上、この時期に概算要望を実施しており、予算確保に向けて北関東防衛局に要望しているものとなっている。

新規事業として松林会館改良事業、白梅会館改良事業が追加され、いずれもバリアフリー化等を実施するための事業となっている。また、対象事業の中には2か年にわたる事業もある。要望額については2か年分の事業全体の補助金要望額も含め、13億1819万2千円となっている。



▲福生第二中学校の校庭照明灯

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動は7月25日に議長及び委員全員で実施する。

横田基地周辺対策等要望事項については、

1 横田基地周辺対策の充実について、防音機能復旧事業の採択や特定防衛施設周辺整備調整交付金の充実等全8項目。

2 令和8年度防衛補助事業の要望については、先に予算要望している項目すべてについて採択を要望するもの。

3 CV・22オスプレイに関する事項については、現在横田基地には6機のCV・22オスプレイが配備されており、令和元年7月に正式な部隊として発足した。令和6(2024)年頃までに計10機の配備となる計画となっているが、情報提供がない中6機目の機体が配備されたことなどから、今後の配備計画等に関する情報を迅速かつ正確に提供するとともに、米国防府に対しても、迅速かつ十分な情報提供を行うよう働きかけることを強く求める等全4項目。

4 横田基地の運用に伴う安全確保の徹底について。

5 感染症の拡大防止措置及び情報提供について。

6 横田基地に関する周辺住民への対応について。

7 米空母艦載機による着陸訓練の全面中止については、米空母艦載機による着陸訓練については、横田基地本来の機能を超えるものであること等から、今後も横田基地における米空母艦載機着陸訓練は一切実施しないこと等。

8 騒音防止対策の推進については、場周経路を逸脱した低空飛行や夜間飛行が目立っている。市民生活に配慮し航空機騒音被害を軽減するため、日米合同委員会の合意事項を遵守することを求める等全4項目。

9 在日米軍の事件・事故に関する的確な情報提供については、日米合同委員会の合意に基づく事件・事故情報以外でも、基地に起因する事故等が発生した場合は速やかに事故等の情報を提供すること等。

10 基地の外における軍人等の法遵守、マナーの向上について。

11 自衛隊の運用及び周辺住民への配慮について。

12 軍民共同利用について。

13 在日米軍と住民との交流促進について。

14 地元産業活性化の促進について。

15 泡消火薬剤に関する



▲日米友好祭の様子

る事項については、令和5年1月に発生したP F O S等を含む水の漏出事案については、情報提供がないまま公表や報道がなされたことや、事案発生から2年以上、かつ、公表後1か月以上経過してから情報提供されたことは大変遺憾であり、P F O S等を含む旧式の泡消火薬剤が残存している箇所がないか国の責任において米軍に確認するとともに、その結果を情報提供すること等全4項目。

4 横田基地日米友好祭について

令和7年5月17日(土)、18日(日)の2日間で開催され、来場者数は約11万7千人(令和6年は30万2000人)と情報提供された。

また、米軍や自衛隊等の航空機の展示について、横田基地広報部からの事前の情報提供があり、31機種もの地上展示ならびに自由降下及び空挺降下展示も実施することとなった。



5 横田基地に関する情報等について

4月4日(金)に12機のF-15イーグルが予定外の着陸のため、横田基地にダイバートした。理由は作戦上の必要によるもの。

6月6日(金)、防衛本省からの情報で6月7日(土)に、米軍オスプレイが横浜ノース・ドックから離陸予定。その後、同機と思われる機体が横田基地へ飛来したことを確認したとの情報があった。

6 横田基地内の視察について

本委員会では横田基地への視察を長年行っており、これまでの間、横田基地の態様の变化も大きいことから、視察を行うこととした。

議員表彰

全国市議会議長会では、議長及び議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。

令和7年度においては、2名の議員が表彰されました。

正副議長4年 **武藤 政義 議員** 議員10年 **佐藤 弘治 議員**



SNS

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

で市議会の情報を発信しています！

X (旧ツイッター)

Facebook

ご覧ください

『福生市議会 議員BOOK』



福生市議会では、議員のプロフィール、選挙時の公報、一般質問の内容を、18名の議員ごとにまとめた『福生市議会 議員BOOK』を作成しています。

議会改革の一環として、“一般質問の重要性”や“議会に関する情報”を積極的に発信していきます。



市議会ホームページに掲載しています。
こちらのQRコードからご覧いただけます。

ご利用ください 市議会インターネット中継



パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス



福生市議会
インターネット
中継

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

会期：令和7年9月2日～9月26日
※会期中に特別委員会が開催される予定です。
※日程は変更になることがあります。

議場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリングループを導入しています。

今年度の夏も近年の中ではかなり暑い夏が予想されています。どうぞお体に気をつけてお過ごしください。

今定例会は、各常任委員会及び議会運営委員会委員など、新たな委員構成で行われました。

市政を問う一般質問も各議員が様々なテーマで行いました。

現在、お米の価格高騰や物価高で、多くの市民生活に深刻な影響を与えています。これに対し、令和7年度一般会計補正予算では、保育所・幼稚園などへの物価高緊急対策補助金や給食費補助事業、また乳幼児・義務教育就学児・高校生の医療費助成事業の所得制限撤廃、さらに高齢者へお米券配布などが含まれ、市民サービス向上のため、多くの事業が行われることが確認できました。

また、議会運営委員会では、「議会改革について」活発な議論を行っています。「議会基本条例の制定」や「政治倫理条例の制定」などがテーマで、その中で市民の皆様と意見交換できる議会報告会や課題懇談会なども検討しています。市民に開かれた議会として、これからも市民の皆様のご期待に応えてまいります。

編集後記